授業科目	成人看護学総論	担当教員	専任教員 ＊ 外部講師 ＊ 木村　ゆかり＊ 日浅　友裕＊	単位数	1	時期	1年次 7月～
				時間数	30		

目的：ライフサイクルにおける成人期の位置づけを明確にし、そのステージの成人がおかれている生活環境を踏まえて成人看護の役割を理解する。

目標：１）成人期の対象を理解する。
２）成人期の発達段階と特徴について理解する。
３）成人のもつ健康問題の多様性について理解する。
４）成人保健の動向と保健・医療対策を学び、保健・医療・福祉チームの一員としての看護の役割を理解する。

回数	学習課題	内　　容	方法	担当教員
1	成人看護学の概要	成人看護学の概念と構造 成人各期の発達課題	講義	専任教員
2	成人と健康	対象の理解　　成人期の発達課題の特徴 対象の生活　　働いて生活を営むこと	講義	
3	生活と健康	大人の生活からとらえる健康 大人の健康の状況	講義	
4	生活ストレスと看護	健康バランスに影響を及ぼす要因 生活行動がもたらす健康問題とその予防	講義	
5	生活と健康をまもりはぐくむシステム	健康増進・生活習慣病対策（健康日本21等） 保健・医療・福祉システムの連携	講義	木村
6	健康生活をはぐくむ看護	健康生活をはぐくむ看護 ヘルスプロモーション 健康をはぐくむ看護の場と活動	講義	
7	看護アプローチの基本	生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 大人の健康行動を促進する看護アプローチ 人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 看護実践における倫理	講義	日浅
8	セルフケア再調整を促す看護１	慢性的な健康状態の揺らぎと慢性病 セルフケア	講義	
9	セルフケア再調整を促す看護２	慢性病との共存の過程を支える看護 慢性病患者への看護技術	講義	
１０	セルフケア再調整を促す看護３	退院をめぐる医療制度の動向 患者・家族にとっての退院の意味 退院調整活動	講義	
１１	セルフケア再獲得を促す看護１	生活行動レベルとセルフケアアセスメント セルフケア再獲得を促すための人的・法的支援	講義	
１２	セルフケア再獲得を促す看護2	障害を持つ人とリハビリテーション 障害を持ちながら生活する人を支援する看護	講義	
１３	健康危機状況におけるセルフケア支援１	健康の急激な破綻 急激な健康破綻をきたした人の看護	講義	
１４	健康危機状況におけるセルフケア支援２	終末期患者の全人的な痛みの理解と援助 終末期患者の家族への援助 人生最後のときを支える看護	講義	
１５	まとめ・試験			専任教員

評価方法	筆記試験
参考文献と資料	テキスト：成人看護学総論　成人看護学（１）（医学書院） 国民衛生の動向　　（厚生統計協会）
事前準備や受講要件等	

担当教員の＊印は実務経験のある教員

授業科目	成人看護学各論Ⅰ	担当教員	専任教員 ＊ 外部講師 ＊	単位数	1	時期	1年次 １１月～
				時間数	30		

目的：機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、セルフマネジメントを必要とする人の看護の方法を理解する。
目標：１）呼吸機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
２）循環機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。

回数	学習課題	内　　容	方法	担当教員
1	成人看護学各論の学び方	機能障害別の看護と疾患別看護	講義	専任教員
2	呼吸機能障害１	呼吸機能とその障害	講義	
3	呼吸機能障害２	換気障害・拡散障害・肺循環障害	講義	
4	呼吸機能障害３	呼吸困難の要因と関連要因・アセスメント・看護	講義	
5	呼吸機能障害４	咳嗽・痰（血痰・喀血）の成因とメカニズム・ アセスメント・看護	講義	
6	呼吸器疾患を持つ患者の看護１	呼吸機能障害の治療に伴う看護１（胸腔鏡下手術・肺切除術・気管支視鏡検査）肺がん	講義	外部講師
7	呼吸器疾患を持つ患者の看護２	呼吸機能障害の治療に伴う看護２（胸腔ドレナージ・呼吸リハビリテーション）肺炎　結核　気胸	講義	
8	呼吸器疾患を持つ患者の看護３	呼吸機能障害の治療に伴う看護３（人工呼吸療法・在宅酸素療法）慢性閉塞性肺疾患（COPD）呼吸不全	講義	
9	循環機能障害１	循環機能とその役割・障害	講義	外部講師
１０	循環機能障害２	胸痛の要因・アセスメント・看護 心不全の要因・アセスメント・看護	講義	
１１	循環機能障害３	不整脈の要因・アセスメント・看護 高血圧・動脈硬化の要因・アセスメント・看護	講義	
１２	循環器疾患を持つ患者の看護１	心臓カテーテル検査　ペースメーカー治療 心臓リハビリテーション	講義	外部講師
１３	循環器疾患を持つ患者の看護２	虚血性心疾患　心不全	講義	
１４	循環器疾患を持つ患者の看護３	弁疾患　不整脈	講義	
１５	まとめ・試験			

評価方法	筆記試験
参考 文献	テキスト: 回数１　（成人看護学各論の学び方）はテキスト不要 回数2～14　看護過程に沿った対症看護　（学研） 回数2～8　呼吸器　成人看護学（2）　（医学書院） 回数9～14　循環器　成人看護学（3）　（医学書院）
事前準備や受講要件	

担当教員の＊印は実務経験のある教員

授業科目	成人看護学各論Ⅱ	担当教員	専任教員 ＊ 外部講師 ＊	単位数	1	時期	２年次 ４月～
				時間数	30		

目的：機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、セルフマネジメントを必要とする人の看護の方法を理解する。
目標：１）内部環境調整機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
２）血液造血器機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
３）身体防御機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
４）性・生殖機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。

回数	学習課題	内　　容	方法	担当教員
1	内部環境調整機能障害１	体液調節機能とその障害 腎不全の要因	講義	外部講師
2	内部環境調整機能障害２	内分泌機能とその役割 機能障害の要因	講義	
3	内部環境調整機能障害のある患者の看護１	腎不全　透析療法	講義	外部講師
4	内部環境調整機能障害のある患者の看護２	ネフローゼ症候群 前立腺肥大症（前立腺癌）膀胱癌	講義	外部講師
5	血液造血機能障害１	造血機能とその役割・障害 貧血のアセスメント・看護	講義	外部講師
6	血液造血機能障害２	感染のメカニズム　易感染のアセスメント・看護 止血のメカニズム　出血傾向のアセスメント・看護 造血器腫瘍のアセスメント・看護	講義	
7	身体防御機能障害１	生体防御機能とその障害 アセスメント・看護	講義	外部講師
8	身体防御機能障害２	免疫のメカニズム・免疫障害の要因・ アセスメント・看護	講義	
9	血液造血器疾患を持つ患者の看護１	検査　化学療法・輸血療法　造血幹細胞移植	講義	外部講師
１０	血液造血器疾患を持つ患者の看護２	白血病　悪性リンパ腫	講義	
１１	性・生殖機能障害１	性・生殖機能とその障害・看護	講義	専任教員
１２	性・生殖機能障害２	女性不妊・男性不妊の原因と看護及び検査	講義	外部講師
１３	女性生殖器疾患を持つ患者の看護１	子宮鏡検査　ホルモン療法　診療介助 手術療法（開腹・経膣・腹腔鏡下）	講義	専任教員
１４	女性生殖器疾患を持つ患者の看護２	子宮がん　卵巣腫瘍	講義	外部講師
１５	まとめ・試験			専任教員

評価方法	筆記試験
参考文献と資料	テキスト： 回数　1～14　看護過程に沿った対症看護　（学研） 回数　1～4　腎臓・泌尿器　成人看護学（８）　（医学書院） 回数［5～6　血液・造血器　成人看護学（４）　（医学書院） 9～10］ 回数　7～8　アレルギー 膠原病 感染症　成人看護学（11）　（医学書院） 回数　11～14　女性生殖器　成人看護学（９）（医学書院）
事前準備や受講要件	

担当教員の＊印は実務経験のある教員

授業科目	成人看護学各論Ⅲ	担当教員	専任教員 ＊ 外部講師 ＊	単位数	1	時期	２年次 ４月～
				時間数	30		

目的：機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、セルフケア再獲得を必要とする人の看護の方法を理解する。
目標：１）脳・神経障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
２）運動機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
３）リハビリテーションの意義について学び、その実際を理解する。

回数	学習課題	内　　容	方法	担当教員
1	脳・神経機能障害１	脳・神経機能とその障害	講義	外部講師
2	脳・神経機能障害２	頭蓋内圧亢進症状　意識障害の要因・アセスメント・看護	講義	
3	脳・神経機能障害３	運動麻痺　運動失調の要因・アセスメント・看護 言語障害の要因・アセスメント・看護	講義	
4	脳神経疾患を持つ患者の看護１	髄液検査　脳血管造影　開頭手術　血管バイパス術 低体温療法中の援助	講義	外部講師
5	脳神経疾患を持つ患者の看護２	脳血管障害　脳腫瘍　パーキンソン病	講義	
6	運動機能障害１	骨格系の運動機能とその障害 （大腿骨頸部骨折）	講義	専任教員
7	運動機能障害２	脊椎の運動機能とその障害 （椎間板ヘルニア）	講義	
8	運動機能障害３	関節の運動機能とその障害 （変形性関節症）	講義	
9	運動器疾患を持つ患者の看護１	脊髄造影検査 牽引療法　ギプス固定　副子固定	講義	外部講師
１０	運動器疾患を持つ患者の看護２	大腿骨頚部骨折　脊髄損傷	講義	
１１	看護とリハビリテーションの実際１	リハビリテーション看護概論 運動器系の障害とリハビリテーション看護	講義	外部講師
１２	看護とリハビリテーションの実際２	中枢神経系の障害とリハビリテーション看護１	講義	
１３	看護とリハビリテーションの実際３	中枢神経系の障害とリハビリテーション看護２ 呼吸・循環器系の障害とリハビリテーション看護	講義	
１４	看護とリハビリテーションの実際４	介助方法の実際　トランスファー	演習	
１５	まとめ・試験			専任教員

評価方法	筆記試験
参考文献と資料	テキスト： 回数1～10　看護過程に沿った対症看護　（学研） 回数1～5　脳・神経　成人看護学（７）　医学書院） 回数6～10　運動器　成人看護学（10）　（医学書院） 回数11～14　リハビリテーション看護　（医学書院） 基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③　（ﾒﾁﾞｶﾙﾌﾚﾝﾄﾞ社）
事前準備や受講要件等	

担当教員の＊印は実務経験のある教員

授業科目	成人看護学各論Ⅳ	担当教員	専任教員 ＊ 外部講師 ＊	単位数 時間数	1 30	時期	２年次 ５月～

目的：機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、セルフケア再獲得を必要とする人の看護の方法を理解する。
目標：１）栄養代謝機能障害の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
２）消化吸収機能障害の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
３）放射線検査・治療の特徴を学び、放射線療法の副作用症状への看護の役割を理解できる。
４）化学療法の概要を知り、看護の役割を理解できる。

回数	学習課題	内　　容	方法	担当教員
1	栄養代謝機能障害１	栄養代謝機能とその役割 高血糖・低血糖のメカニズム 糖尿病の要因・アセスメント・看護	講義	外部講師
2	栄養代謝機能障害２	高脂血症の要因・アセスメント・看護 肝不全の要因・アセスメント・看護	講義	
3	消化・吸収機能障害１	消化・吸収機能とその役割 食欲不振・嘔吐の要因・アセスメント・看護	講義	外部講師
4	消化・吸収機能障害２	吐血・下血の要因・アセスメント・看護 腹部膨満・便秘・下痢の要因・アセスメント・看護	講義	
5	消化機能障害・栄養代謝機能障害のある患者の看護１	内視鏡検査　放射線検査	講義	外部講師
6	消化機能障害・栄養代謝機能障害のある患者の看護２	胃・十二指腸疾患　肝硬変　膵炎 潰瘍性大腸炎・クローン病　（生活指導）	講義	
7	皮膚・排泄ケアの実際１	褥瘡の要因と予防　褥瘡の治療と看護	講義	外部講師
8	皮膚・排泄ケアの実際２	ストーマケア	講義・演習	
9	放射線検査の特徴	IVR　MRI　核医学診断　超音波診断	講義	外部講師
１０	放射線療法と健康管理	放射線療法における健康障害と健康管理	講義	外部講師
１１	放射線療法を受ける対象への看護１	放射線療法における看護の役割	講義	外部講師
１２	放射線療法を受ける対象への看護２	放射線療法における看護の実際	講義・演習	
１３	化学療法を受ける対象への看護１	化学療法とは　化学療法における看護の役割	講義	外部講師
１４	化学療法を受ける対象への看護２	化学療法における看護の実際	講義・演習	
１５	まとめ・試験			外部講師

評価方法	筆記試験
参考文献と資料	テキスト： 回数1～2　内分泌・代謝　成人看護学（６）　（医学書院） 回数1～6　看護過程に沿った対症看護　（学研） 消化器　成人看護学（５）　（医学書院） 回数7～8　皮膚　成人看護学（12）　（医学書院） 臨床看護総論　基礎看護学（４）（医学書院） 回数9～12　臨床放射線医学　（医学書院） 回数11～14　がん看護学　（医学書院） 臨床看護総論　基礎看護学（４）（医学書院）
事前準備や受講要件等	

担当教員の＊印は実務経験のある教員

授業科目	成人看護学各論Ⅴ	担当教員	外部講師 ＊ 専任教員 ＊	単位数	1	時期	２年次 ６月～
				時間数	30		

目的：健康の保持・増進の重要性を理解し、健康上の諸問題を捉え、セルフマネジメントを支援する看護の実際を、問題解決の方法に基づき援助ができる能力を養う。

目標：慢性期の事例を通して健康障害を持つ成人の看護を理解し、成人看護に必要な知識・技術を統合する。

回数	学習課題	内　　容	方法	担当教員
1	糖尿病看護の基本	糖尿病とは 糖尿病の基礎知識・疾患の理解・看護	講義	外部講師
2	看護過程の展開１	看護過程の流れ データベースの記載	講義	専任教員
3	看護過程の展開２	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈１ 事例の病態理解	講義	
4	看護過程の展開３	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈２	講義	
5	看護過程の展開４	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈３	講義	
6	看護過程の展開５	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈４	講義	
7	看護過程の展開６	問題の明確化	講義	
8	看護過程の展開7	統合関連図	講義	
9	看護過程の展開８	指導技術とは	講義	
１０	看護過程の展開９	指導計画書立案１	講義	
１１	看護過程の展開１０	指導計画書立案２	講義	
１２	看護過程の展開１１	指導計画書立案３	講義	
１３	看護過程の展開１２	援助の実際１	演習	
１４	看護過程の展開１３	援助の実際２	演習	
１５	看護過程の展開１４	援助後の評価	講義	

評価方法	記録物（看護過程）による評価
参考文献と資料	テキスト： 回数1～15　内分泌・代謝　成人看護学講座（６）（医学書院） 回数9　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②　(ﾒﾁﾞｶﾙﾌﾚﾝﾄﾞ社) 参考図書　臨床検査　(医学書院) 今日の治療薬　(南江堂) 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践（ﾇｰｳﾞｪﾙﾋﾛｶﾜ） ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト（ﾇｰｳﾞｪﾙﾋﾛｶﾜ）
事前準備や受講要件等	自己学習をして授業に臨む。常に事前学習ファイルを用意して授業に臨む。

担当教員の＊印は実務経験のある教員

授業科目	成人看護学各論Ⅵ	担当教員	外部講師＊ 専任教員＊	単位数	1	時期	２年次 １０月～
				時間数	30		

目的：周手術期看護・クリティカルケアを知り、臨床判断の基礎的能力を養う。

目標：１）周手術期の特徴を知り、看護の方法を理解する。

２）救急看護・集中治療を受ける患者の看護を理解する。

３）臨床判断能力の概要を知り、必要な判断ができる。

回数	学習課題	内　　容	方法	担当教員
1	手術を受ける患者の看護１	術前・術後の看護　胃切除　胆嚢摘出術	講義	外部講師
2	手術を受ける患者の看護２	乳房手術　人工肛門造設術	講義	
3	手術中の患者の看護	手術中の看護の要点 手術室における看護の展開	講義	外部講師
4	救急看護の特徴	救急患者の特徴　救急医療体制 救急看護と法的・倫理的側面　感染管理	講義	外部講師
5	集中治療を受けている患者の看護	輸液ライン挿入中　気管内チューブ挿入中 気管切開･酸素療法・ＭＥ機器装着中 心臓手術	講義	
6	重症集中治療を受ける患者の看護	外傷　熱傷　中毒	講義	
7	臨床判断能力の基礎１	臨床判断モデルを求められる場面１	講義	専任教員
8	臨床判断能力の基礎２（1ｈ）	臨床判断モデルを求められる場面２	講義	
9	臨床判断能力の基礎３	臨床判断モデルとは	講義	
１０	臨床判断能力の活用１	周手術期事例の解釈・判断	講義	
１１	臨床判断能力の活用２	状況の変化に応じた検温計画の立案	演習	
１２	臨床判断能力の活用３	状況の変化に応じた援助計画の立案	演習	
１３	臨床判断能力の活用４	臨床判断の実際　援助の実施１	演習	
１４	臨床判断能力の活用５	臨床判断の実際　援助の実施２	演習	
１５	臨床判断能力の活用６	実施後の省察・まとめ	講義	
１６	試験（1ｈ）			

評価方法	回数1～6　筆記試験　40点 回数7～15　記録物　60点
参考文献と資料	テキスト： 回数1～2　臨床外科看護各論　（医学書院） 回数1～3　臨床看護総論　基礎看護学（４）（医学書院） 回数3　臨床外科看護総論　（医学書院） 回数4～6　救急看護学　（医学書院） 臨床外科看護各論　（医学書院） 回数7～14　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②　（ﾒﾁﾞｶﾙﾌﾚﾝﾄﾞ社）
事前準備や受講要件等	自己学習をして授業に臨む。